

施設名・所在地	白雪幼稚園・登別保育所 北海道登別市
設置主体	私立(学校法人)の幼稚園及び公立の保育所
施設類型	① 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・平成17年度から学校法人立幼稚園と公立保育所を併設し、保育所運営を委託。 ・幼稚園児約60人(3～5歳)。保育所児約70人(0～5歳)。

1 職員配置

書面調査概要	・職員配置は幼・保の各基準を満たす。
①評価できる点など	・認可の保育所と幼稚園による幼保連携型であるため、職員配置はそれぞれの基準を満たしており、低年齢児や年長児への配慮などは基本的にできている。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	・併有14、幼0、保1、無資格0
①評価できる点など	・ほとんどの職員が両方の資格・免許を有しており、幼保の合同保育をスムーズに行っている。また、他のモデル事業実施園や幼稚園・保育所団体の研修会など、職員を積極的に研修に出しており、総合施設を意識した研修に取り組んでいる。
②課題など	
③その他特記事項	・職員全員が揃って研修できるのは、長時間保育が終わった後や日曜日などに限られており、研修時間の確保が課題となっている。

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	
①評価できる点など	・幼保一体化に取り組むことを前提に幼稚園・保育所の園舎がつくられており、幼保の園舎はそれぞれ独立しているが、廊下でつながっており、限りなく合築施設に近い構造となっている。
②課題など	
③その他特記事項	・園舎は幼稚園・保育所それぞれに分かれているが、園庭や職員室、玄関などは共用で、ほとんど幼保の区別なく利用されている。

4 給食の状況

書面調査概要	・自園方式
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	・幼稚園・保育所の区別なく、全ての園児に給食を提供している。

5 教育・保育内容① (6を除く) 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など

書面調査概要	
①評価できる点など	・0・1歳児、2歳児、3～5歳児という3つのデイリープログラムが作成されており、年齢に応じたカリキュラムが工夫されている。
②課題など	
③その他特記事項	・午睡に関して、3歳児は全員実施、4歳児は試行期間を設けて実施、5歳児は個々に合わせて柔軟に対応といったように、年齢に応じて午睡の在り方を工夫している。園長によると、保育所では午睡がカリキュラムの一つの柱になっているが、幼稚園では必ずしもそうではないため、幼稚園的な利用の子どもは初めの頃、午睡を嫌がるケースもあったという。そうした経験から、午睡の意義についても研究したいという。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・同一年齢混合学級
①評価できる点など	・3～5歳児については、保護者の就労の有無や形態に関わりなく、子ども一人ひとりの育ちを保障するという考えに立って、完全な合同保育を行っている。その上で、保護者の就労に伴う長時間保育については、養護という観点から必要な配慮を行っている。異年齢保育については、行事や自由遊びの中で行っている。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	<p>地域の小中学生との交流や、お年寄りとの交流などを行っており、地域が一体となった子ども環境の整備を重視している。</p> <p>・幼稚園・保育所とも50人程度の比較的小規模な施設であるため、幼保一体的な取り組みを行うことによって、子どもにとって模倣する題材が多くなったという。</p>
--	--

8 子育て支援

書面調査概要	・施設開放
①評価できる点など	・相談室やふれあいルームを備えており、育児相談や子育て支援講座の開催、医療関係機関との連携などに取り組んでいる。
②課題など	
③その他特記事項	

9 その他

・保護者が途中で仕事をやめたり、逆に途中で仕事に就いたりした場合など、幼保の定員の変動にどう対応するかが課題だと考えている。

・幼保合同保育で子どもにとって同じ保育を行っても、入園料や保育料、給食、制服、教材などの点で保護者負担が異なってくる。この違いにどう対応するかも課題だと考えている。

・幼保一体的に取り組む場合、全ての職員が保育理念をしっかり持ち、価値観を共有する必要があるが、研修や話し合いなどの面で全員が揃うのが難しい。これをどう克服するかが課題となっている。

施設名・所在地	まゆみ幼稚園・中里保育所 福島県二本松市
設置主体	公立 <u>私立</u> (学校法人)
施設類型	1 <u>幼保一体型</u> (※幼保連携型) 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・学校法人運営の幼稚園と保育所の一体活動。ただし2施設が直線3km離れる。 ・保育所の3～5歳児が午前中に幼稚園に登園し合同保育を実施する。 ・幼稚園児約70人(3～5歳)。保育所児約50人(0～5歳)。

1 職員配置

書面調査概要	・職員配置は幼・保の各基準を満たす。・低年齢児はベテランと若手を組み合わせる
①評価できる点など	・幼稚園・保育所それぞれの基準を満たした上で、3歳以上児については1クラスに3人の保育者を配置し、合同保育などできめ細かい保育ができるように配慮している。3人の役割分担は、クラス全体の保育を進める者、一人ひとりに配慮しながらクラス全体の保育をサポートする者、配慮が必要な子どもにも個別対応する者というようになっている。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	・併有13、幼1、保1、無資格0 ・研修に意欲的に企画又は参加
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	・研修については、午睡の時間や土曜日の午後などを使って、なるべく多くの職員が研修できるように工夫している。

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	・幼稚園に「おもちゃの部屋」と呼ぶ専用のフリースペースを確保し、①合同保育の際の自由遊びに利用、②早朝の預かり保育やコアタイム終了後の預かり保育に利用、③必要に応じて在宅子育て支援の親子登園の場に利用、といった多様な活用を図っている。

4 給食の状況

書面調査概要	・一部(3～5歳児について)外部搬入：理由…幼稚園に調理室がない。
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	・保育所の3歳未満児については通常の給食が実施されているが、3～5歳児については保育所児も幼稚園児も給食センターからの搬入となっている。

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・幼稚園部では合同保育以外に預かり保育も専従職員で実施。
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	・0～2歳児、3～5歳児、親子登園それぞれのデイリープログラムを作成した上で、総合施設としての教育・保育に取り組んでいる。その中で、3～5歳児については、4時間のコアタイムを設定して、年齢別の教育活動を行っている。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・保育所から幼稚園へ園児が来て同一年齢合同保育。・合同保育は3人で担当
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	<p>・研修に関しては、県・市の行政担当者や保護者代表も交えた施設全体としての研修会を年3回、総合施設に係る園内研修を月1回、保育内容に関する研修を月3回、それぞれ実施する予定にしており、研修には力を入れている。</p> <p>・幼稚園と保育所が約3キロ離れていることから、3～5歳児の合同保育を毎日実施した上で、幼児教育としてのコアタイムを設定している。保育園児は午後5時頃まで幼稚園で活動する。また、「組織としての統一」「理念の統一」「育ちとしての統一」「幼児教育としての統一」を図ることに努めている。</p>
--	---

8 子育て支援

書面調査概要	・特定保育(15人) ・一時保育(1日2～3人) ・親子登園(週5日、平均5組)
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	・地域の子育てサークルのイベントや会議への支援を行っている。

9 その他

・幼保一体の総合施設を目指すために、「組織としての統一」(学校法人による幼稚園・保育所の運営)、「理念の統一」(地域のみinnで子育てという理念)、「育ちとしての統一」(育ちの一貫性を持たせるよう職員の意思統一を図る)、「幼児教育としての統一」(3歳以上児の幼児教育における統一)といった基本的な考え方を確立しようと取り組んでいる。

・3～5歳児の保育所児は、朝の登園を保育所でも幼稚園でもどちらでも選択できるようにしている。(保育所に登園した子どもは園バスで幼稚園に移動)

施設名・所在地	かわしま幼稚園・川島保育所 岐阜県各務原市
設置主体	公立・私立（学校法人、社会福祉法人）
施設類型	① 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・各務原市の公立幼稚園廃止、幼保モデル事業推進の中で選定された。 ・幼稚園児約110人(3～5歳)。保育所児約120人(0～5歳)。

1 職員配置

書面調査概要	・職員配置は幼・保の各基準を満たす。
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	社会福祉法人の保育所と学校法人の幼稚園ということで、職員の人事交流が自由にできないことが課題となっている。

2 職員資格・研修

書面調査概要	・併有14、幼0、保0、無資格0
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	・自園方式
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	幼稚園においても調理室を持ち、自園方式の給食を実施している。

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・幼稚園部では預かり保育も実施。
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	3～5歳児については、幼稚園的利用の場合でも15:00まで活動していることもあって、保育所利用においても限りなく幼稚園に近い教育を行っている。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・同一年齢混合学級 (※ただし学級の人数が2学級分相当あり、配置等要確認)
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	自由遊びや行事を通して異年齢保育を行っている。また、幼稚園・保育所とも特別教室という形で英会話や習字などを行っている。

7 教育・保育内容③
その他

--

8 子育て支援

書面調査概要	・子育て支援センター ・子育て相談(月2回、平均50人)
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	未就園児の親子登園を月2回行っているほか、祖父母の集いも月1回行っている。また、いわゆる学童保育も行っている。

9 その他 総合施設モデル事業に取り組むことを契機に、保護者に対するアンケート調査を実施している。

施設名・所在地	くるみ幼稚園 千葉県柏市
設置主体	公立・ <u>私立</u> (学校法人)
施設類型	1 幼保一体型 <u>2 幼稚園型</u> 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・0～2歳児は認可外保育施設、3～5歳児は幼稚園施設で保育。満3歳児受け入れは10月に一括実施。 ・園児数198人(短時間児190人、長時間児8人) ・外部搬入による給食

1 職員配置

調査概要	・職員数は常勤職員14人、非常勤職員(障害児担当)6人、長時間保育担当者2人、栄養士1人など ・保育園児12名を5名の職員で勤務時間をずらしながら対応。 ・幼稚園担任は経験年数は様々。
①評価できる点など	・非常勤職員(6人)は障害児(6人)の対応を行っており、細やかな配慮がされている。また非常勤職員には担任経験者等を採用するなど配慮している。
②課題など	・3歳児は49名を2学級に分け、担任各1人と障害児用非常勤1人を配置。 ・保育所部分の職員は1年雇用であり、幼稚園との処遇の違いがある。
③その他特記事項	・栄養士には、外部搬入への対応が期待される。

2 職員資格・研修

書面調査概要	・両資格併有者4人、幼稚園教諭のみ有する者4人、保育士のみ有する者1人
①評価できる点など	・障害児担当の非常勤職員にはなるべくいずれかの資格保有者を充てるようにしている。 ・幼稚園保育終了後、全員が集まり情報交換や指導について話し合いを重視している。
②課題など	・保育所部分との合同研修等を行うことが課題。両施設の主任同士が園便りなどの情報交換をしている程度。2歳児のほとんどが幼稚園に入園するので、その際引継ぎの情報交換を行っている。
③その他特記事項	・幼稚園の長時間児担当職員は幼稚園の経験者を用いると幼児の安心感が強くなり効果的であるとのこと(園の発言)

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・2歳児が園庭で遊ぶ際の安全に配慮。
①評価できる点など	・幼稚園は平屋で3歳と5歳など異年齢の学級が隣接しており、異年齢交流が生まれる環境が工夫されている。 ・園庭は狭いが、隣接の公園を保育時間は占有して無料で使用している。 ・保育施設は2階建てであるが、機能としては十分。2歳児が園庭で遊ぶときは、衝突等安全面に配慮。
②課題など	・幼稚園トイレは1箇所を除き大人用サイズである。安全面からは幼児サイズが望ましい。
③その他特記事項	・園庭に大根やねぎの畑があり、水遣りの世話を園児がしているが、園児が触れられる植物や小動物があるとより望ましい。

4 給食の状況

書面調査概要	・外部搬入、対象児童2～5歳、搬入元(幼稚園専門の給食業者)から40分かけて搬送(27km)。
①評価できる点など	・300余りの幼稚園に給食配送を行っている幼稚園児専門の給食センターを利用。
②課題など	・冬場は温かい食事ができないのが、難点。 ・主食の量は個人差が大きいので、柔軟に対応できると望ましい。 ・体調に合わせて食事に配慮する場合は、弁当での対応となる。
③その他特記事項	・給食は月毎の申し込み制(週1回～4回で選択可能) 全部弁当の子もいるが、週2回が約半数であり、保護者のニーズに応じている。長時間保育児はおやつがでる。 ・1歳児が1人だけ利用しているが、そのままではなく量や刻み方を調節して提供。

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

調査概要	・0～2歳児は保育所保育指針に基づいた保育計画、3～5歳児は教育課程を編成して学年ごとに月案を作成。各学級は日案を作成。モデル事業での変更はなし。
①評価できる点など	
②課題など	・長時間児のプログラムは特に作成していない。
③その他特記事項	・長時間児について、幼稚園終了後保育施設にて家庭の補完としての過ごし方をしている。時には近隣の図書館に本を借りに行くこともある。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	年齢別学級編成、短時間児と長時間児を混合(長時間児の数は少なく、存在しない学級もある)
①評価できる点など	・基本的に学級での保育指導。園外保育、なかよし会(学期1回)、こまの会などの行事で異年齢交流。水曜日のみコース別送りで、異年齢児が解散地点まで歩いて帰るなど異年齢保育に配慮。9:00～10:00までの遊びの時間は自然な交流が起こるようにしている。
②課題など	・自然な交流における教職員の指導の在り方 ・保育所から受け入れる3歳児と新入園児の3歳児との保育における配慮(実数が少ないので検証していない。)
③その他特記事項	・保育参観・行事を含めて月1回行っているが、長時間児保護者も都合をつけて参加。

7 教育・保育内容③ その他

	<ul style="list-style-type: none"> ・休業日・休業期間への対応: 休業中は特別プログラム。希望制をとり9:00～2:00、18名参加。一時預かりも実施 ・職員会議や研修の工夫: 「研修は午睡の時間を活用(難しい面もある)」、幼稚園部分と保育所部分の合同研修が課題。 ・幼保の保護者の相互交流には課題がある。 ・モデル事業の成果については、「発達段階に応じた活動の観点から引き続き検証が必要」とのスタンス。0～2歳児の成長過程を知ることができるので、それをどう教育・保育内容につなげるか。
--	--

8 子育て支援

調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・親子登園(親子遊び)、2歳児対象、年10回、専用場所なし: 保育所の1階部分を利用。登録制2歳児28組。10:00～11:30の時間を親子で過ごす。保険料として年1,500円徴収。 ・一時預かり: 3歳児を週2回(火・金)9:30～11:30一時預かり(保護者のニーズにより)保育者1名対応。
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	

施設名・所在地	エイビイシー保育園 東京都新宿区
設置主体	公立 <u>私立</u>
施設類型	1 幼保一体型 2 幼稚園型 <u>3 保育所型</u> 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数約80人(短時間児約20人、長時間児約50人) ・園庭がなく近隣の公園で代替。 ・24時間対応

1 職員配置

書面調査概要	・0歳児、5歳児には経験の多い職員を配置とのこと。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・総合施設モデル園になったことにより、職員3名を増員。 ・ふくろう組(夜間保育対象者)保育士は専任で8名配置。 ・学年ごとの担任制を実施
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	・全ての職員が両資格を併有。
①評価できる点など	・園内研修会を月1回、土曜日に開催。内容は0歳児の成長、ベビーホテルの実態、地域文化の把握など。
②課題など	・3～5歳児の保育内容について、今の環境を生かした環境の構成や指導のあり方について研修を深めることが求められる。
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・園庭がない。近隣の公園で代替。
①評価できる点など	
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室が狭く、学級数分の保育室が用意されていないなどの課題が残る。 ・調査当日が雨天であったため、実際の公園の活用状況は確認できなかった。
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自園方式 ・「同じ教育・保育を受けるとき同じ食事をするのは大切」
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・24時間対応。
①評価できる点など	・職員が幼稚園教育要領と保育所保育指針を読むことで、職員の意識が変わった。
②課題など	・総合施設としてのカリキュラムが作成されているが、その内容に合った環境や教材のさらなる工夫が求められる。 ・保護者の要望もあり、週に1回リミックと英会話の時間を曜日を決めて実施。
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・形式的には年齢別クラス編成だが実際は異年齢混在型
①評価できる点など	・年齢別クラス編成と、異年齢保育の双方を実施(クラス編成は形式的というわけではない)。
②課題など	・雨天だったこともあり、時間を過ごさせる遊びが中心であった。 ・クイズゲームをしていたが、子ども達に集中に欠ける面が見られた。
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	

8 子育て支援

書面調査概要	・園児以外への子育て支援は、特に実施していない。
①評価できる点など	・実際には、第3土曜日に施設開放を行ったり、6月と11月に地域向けの勉強会(講師を呼んで、幼児への親のかかわり方について講演)を実施したり、日常的な電話相談に応じるなどの支援を実施している。
②課題など	子育て支援専用スペースの確保が困難。学童保育を行っている近隣の施設は、昼間は使われていないため、この場所の活用も考えられる。
③その他特記事項	

施設名・所在地	だいち子どもの国(認可外保育所) 岡山県岡山市
設置主体	公立 (私立) (個人立)
施設類型	1 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他(認可外保育所)
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設(基本時間 (短)9:30~14:00 (長)8:00~17:00) もともと、設置者の意図は、認可幼稚園を設立したかったとのこと。 ・250人規模の認可保育所が隣接。 ・隣接する認可保育所からの外部搬入を実施。 ・園児数70人程度(短時間児67人、長時間児5人。2歳児10人程度、3~5歳児各20人程度)

1 職員配置

書面調査概要	・3歳児 23:1(有資格者)、4~5歳児 20:1(有資格者)
①評価できる点など	・フリー職員を配置するなど、人員配置上の工夫が見られた。
②課題など	
③その他特記事項	・現時点では、長時間児は5名しかおらず、シフト編成は容易な方ではないか。

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・両資格併有者5人、幼稚園免許取得者2人、保育士資格保有者0人、無資格者2人) ・研修は、短時間児降園後に実施(工夫点)
①評価できる点など	・毎週1回、短時間児降園後の15-17時に空き教室を活用し、他園の幼稚園園長を招き、教育課程の編成等につき研修を実施。
②課題など	
③その他特記事項	・設置者から、幼稚園教員資格認定試験の改善について要望あり。

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室無し ・運動場面積(親子登園の2歳児を除いた場合)3.14/1人
①評価できる点など	・各部屋ごとにピアノを設置。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室がない。 ・運動場の面積が幼稚園設置基準・児福施設最低基準を下回っている。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室はないが、研修等は短時間児降園後に空き教室を活用して実施。児童一人一人の記録簿については、部屋を設けて保存。 ・園庭は、当該施設の経営者が理事長を務める隣接(約50㎡)する定員250名の認可保育所のものを相互活用。

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・外部搬入(隣接の認可保育所から搬入)※弁当あり 距離0.3km 運搬所要時間(徒歩3分)
①評価できる点など	・アレルギー児への対応は、症状が過度に重くないかぎり、隣接する認可保育園の調理室において除去食、代替食により対応している。
②課題など	・職員が給食バケツで運んでいるため、荒天の際が大変。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3歳児は月1回、4歳児は週1回、5歳児は週2回の完全給食を実施。 ・給食日以外の日は、うちで弁当を作ってもらっているとのこと。保育に欠かせない短時間児の利用がほとんどであることから、家庭での手作り弁当を尊重。 ・一時保育の場合でも、希望すれば給食あり(1食300円)。

5 教育・保育内容① (6を除く) 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・0～就学前までの発達過程を踏まえた上で家庭や地域の生活と連続性、一貫性 ・午後の時間は、家庭的な雰囲気保育
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の絵画指導(月1回)。 ・週末に本の貸出を行っており、家庭での読み聞かせの状況を記録簿として保存。
②課題など	
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間児がほとんどを占めている。長時間児については、午後は、家庭的な雰囲気保育。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・同一年齢学級編成(長短混合)=3～5歳児(異年齢交流あり) ・0～2歳児は親子登園
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢保育としては、遠足、クッキング、誕生会を実施。
②課題など	
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本来、完全に学齢に関わらない3～5歳児の縦割り保育(異年齢保育)を実施したかったが、建物の関係上、同一年齢学級編成によらざるを得なかったとのこと。 ・『異年齢保育の良さは、(1)年上の子にとっては、年下の子への優しさや、手伝いの重要性などお兄ちゃん、お姉ちゃん的感覚が芽生えること、(2)年下の子にとっては、言葉の発達等が促進されること。しかし、他の施設で、入所児童の年齢構成上、専ら異年齢保育しか受けられなかった子どもが、当園に入園し、同年齢保育を中心とした保育を受けさせた結果、親御さんから子どもの反応が素直になったとの声が寄せられた。異年齢保育の重要性は言うまでもないが、同年齢保育の重要性も再認識。バランスが大切ではないか。』と設置者は語る。

7 教育・保育内容③
その他

<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児に対しては、①月・水・金の週3日又は②月～金の週5日の14時までの預かりを実施。利用者のニーズは、地域に同年齢の子どもがおらず、子ども同士を遊ばせる機会が欠乏していることに起因したことが多いとのこと。
--

8 子育て支援

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育 4人/日
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間の0～3歳児を対象に一時保育を実施(1時間500円)。 ・0～2歳児を対象とした親子通園を実施(火曜コースと木曜コースの週2回。月5000円)。親子リトミックやお母さんのための子育て講座(離乳食、排泄習慣等)などを実施。毎回ノートにより記録を残し、母親に対し、毎週の課題や、日々の過ごし方等を助言。
②課題など	
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間児の一時保育は、隣接する認可保育所で対応。

総合施設モデル事業第1回訪問によるヒアリング（10施設）の概要

～「平成17年度厚生労働科学研究 子ども家庭総合
就学前の保育・教育を一体とした総合施設のサービスの質に関する研究」より～

増田 まゆみ

訪問施設

幼保連携型	公2 私3
幼稚園型	私2
保育所型	公1 私2

訪問時期 9月初旬～10月初旬

訪問時間 9時～12時

総合施設モデル事業実施理由

- 待機児解消に向けて総合施設設立、入所児数の減少から統廃合が進む中での総合施設設立という物理的要因
- 就労の有無、幼保の区別なく、教育・保育の充実を図る
- 保育を必要としている人、子育て支援を必要とする人への対応
- 就学前から義務教育まで、地域で一貫した教育体制をつくる構想

職員

- 多くは幼免・保育士資格併有、常勤職員・非常勤職員の構成比率
- 研修に積極的に取り組む
例 合同での保育内容に関する園内研修を月3回、総合施設に関する研修を月1回
フリー職員が多いため、外部研修に出やすい
非常勤職員会議をもち、その育成に努めている
- 勤務体制、給与体系等 例えば休暇・給与等で幼保の職員に差が出る（施設内、法人内での連携）
- トップ
幼保別の園長設置が多いが兼務トップが単独等さまざま。トップの体制・姿勢・考え方の影響が大きい

クラス体制・異年齢保育

- 年齢別保育が多いが、異年齢での保育にも取り組んでいる
- 年齢別保育～幼保別のクラス編制、幼保一緒のクラス編制
- 異年齢での保育は、様々に試行錯誤しながら進めている
行事だけでなく、日常保育の中でのクッキング

一日の保育の流れ・保育内容等

- クラス編制、カリキュラムによりさまざま
幼保同一クラス、クラスは別であるが保育の場・内容が共通・コアタイムの考え方
国際化・情報化に対応する 英語・中国語教室・パソコン教室等
- 預かり保育
例 様々な教室 文字数・サッカー・英会話等
- 自己評価や保護者へのアンケートにより保育の改善

指導計画等保育に関する計画

- 教育課程・保育計画、指導計画等～総合施設として0歳から6歳までの一貫性のある計画が作成されている施設・不十分な施設・検討中の施設と様々

食事

- 自園・業者委託・学校給食の活用等多様
- 細やかな対応がなされている園と不十分な園
例 3歳未満児の食事、食器、アレルギー除去食

行事

- 保護者との連携を尊重している
例 保育参観 従来は1日の設定であったが、就労している保護者への配慮から1週間としたことにより、参加者が多かった
- 合同での行事に取り組んでいる園、スタートして間もないため別々に行っている園等
- 低年齢児の行事への参加の在り方について検討
- 保護者会 幼保合同、別々、ない園等

小学校との連携

- 指導要録について～幼稚園のみが多い。幼保共に指導要録を作成し、小学校へ提出。
- 体験入学、行事参加等子どもの交流
- 連絡会、一日保育士として小学校教員が入る
- 小学校新任研修・10年経験者研修で、起用しが保育現場に1日はいる
- 小学校5校と連携して学童クラブ
- 夏期休暇中の学童保育

特別なニーズへの対応

- 障害児保育は実施園はかなりあり、専門機関との連携もとれている。
- 24時間体制で保育を受け入れる用意 高齢者福祉施設との複合施設

子育て支援

- 一時保育・相談事業、情報提供、園庭開放、学童保育等様々な子育て支援が行われている、実施内容検討中の園もある
- コミュニティ拠点としての総合施設
- 親子での登園 例 親の育ちを目標とし、毎日受け入れ、スタッフが相談も受ける
親子の育ちの場として、セミの羽化を見る会など
- 母親サークル 16講座あり、全て先輩母親が講師
- 地域訪問～生後6ヵ月から就学前まで家庭訪問

その他

- 建物、保育室、遊具、玩具等就学前の施設に相応しい環境の整備された施設と、不十分な施設
- 総合施設となったことで、母親の就労により書類上の所属が変わっても、子どもの生活は変わらないというメリット
- 配慮を必要とする子どものためのセーフティネットの仕組みを考え、入園推進委員会を立ち上げている。
- 保育料等費用 公立幼稚園保育料・私立幼稚園保育料・保育所・認証保育所・認可外保育所等
教材費の徴収と教材

* (研究担当 石井哲夫・柴崎正行・増田まゆみ 研究協力者 森上史朗他)

以上、10モデル施設の取り組みは実に多彩である。どの施設も理念実現に向けて、努力されていることが、訪問時も直接ヒアリングさせていただいたことで、実感できた。充実した内容や工夫点を明らかにすると共に、様々な角度から課題を検討するために、実態を報告する。